

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月20日更新

事務事業名		図書館電算管理システム維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	辻 健一
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	末永 舞
	基本事業	69	生涯学習施設(環境)の整備			所属班	図書館班	(内線)	2531
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 11164	法令根拠	成果優先度評価結果	①
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	図書館電算システムの維持・管理、利用者向けインターネット端末の維持・管理・現在の図書館運営は電算システムは欠かせないものであり、開館時より運用している。合併に伴い、両町のシステムを統合した。インターネットの普及により、蔵書の検索がホームページより行えるようなシステムを構築した。新システムでは蔵書の情報インターネットに公開し、利用者に情報を公開している。合併時に導入した図書館システムの更新を3月に行った。
【業務の流れ】	トラブル時の対応、機器故障時の修繕、プリンタトナー等消耗品手配、各種統計作業
【主な予算費目】	委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	住民より、利用者検索端末の操作性(使いにくい)に関する意見があったが、タップ機能にも慣れてきた様子である。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	図書館システムの維持管理・利用者向けインターネット端末の維持管理を委託し、システムの安定稼働につとめた。25年3月にシステムの更新を行った。	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人	予算の主な増減の理由
→ ア:登録者数		図書館システム機器入れによる使用料及び賃借料の減額
イ:蔵書数	点	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	図書館電算管理システム	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位)時間
		→ ア:システムの稼働時間
		イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	円滑な図書館運営を行うシステムの安定稼働を図る	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位)件
		→ ア:トラブルの件数
		イ:システムの停止時間
		時間
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
維持管理の事業のためトラブル件数等の指標とした。経年により若干増えると予想した。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込	
①活動指標	ア 人		33,551	28,715	30,000	0	31,000	32,000	33,000	34,000	
	イ 点		318,000	323,729	323,000	0	327,000	327,000	327,000	327,000	
②対象指標	ア 時間		2,920	2,920	2,920	2,920	2,920	2,920	2,920	2,920	
	イ										
③成果指標	ア 件		6	5	1	0	1	1	1	1	
	イ 時間		0	0	0	0	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	2,296	2,072	8,360	7,539	7,628	7,628	7,628	7,628
		(A)のうち指定経費	千円	2,296	2,072	8,360	7,539	7,628	7,628	7,628	7,628
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	5	1	5	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	165	612	384	480	384	384	384	384
(B)人件費計	千円	666	2,491	1,563	1,912	1,563	1,563	1,563	1,563		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,962	4,563	9,923	9,451	9,191	9,191	9,191	9,191		

事務事業名	図書館電算管理システム維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 平成25年3月に図書館電算システムを更新した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 新しい図書館電算システムに早くなれていきたい。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 現状の達成状態を維持するための事業であり、向上余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 図書館独自のシステムのため統合等ができない。なお、施設間の通信回線については図書館独自の回線をりようし、学校分だけを情報広報班敷設回線を利用している。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 サービスを維持するための必要最小限の経費である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在委託で行っており、人件費の削減余地は限られる。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 サービスを維持するための経費であり公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 現在図書館に設置しており適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

導入後7年が経過するため、機器の故障が若干増加した。平成25年3月に図書館システム更新を行った。
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					